



第48号 (発行)
和光市青少年育成推進委員会
広報担当

事務局：和光市教育委員会生涯学習課 青少年担当 ☎464-1111

少年指導員を囲んで

情報交換会

夏休み前の7月14日、4名の少年指導員をお招きして、「和光市におけるパトロールの現状について」の情報交換会が行われました。

少年指導員の活動は、朝霞警察署から指示された時間帯を定期的にパトロールして、不審な行動、未成年者の喫煙などに声をかけをし、指導に努めています。

現状

- 朝霞警察署管内の少年犯罪数は、昨年まで全国的にもワースト上位であったが、今年に入り少しずつ減少気味である。
- カラーギャングなどのグループによる犯罪が増えている。
- お店によっては以前と比べて、中の様子が見えやすくなり、少年の喫煙などが少なくなった。一方、飲酒に関しては、ジュース類とアルコール類などの区別が付きにくく把握できないでいる。
- 夜遅くに公園やコンビニの前などで飲酒、また、遊具やベンチに火をつけるなどの悪質ないたずらが多くなっている。

対策

- 登下校の際などに、子どもたちへの声か

けをして、周りの大人たちが常に温かい目で見守っていることを感じてもらうようにする。

- カラオケ店などに制服で出入りする子どもたちが増えているので、プライベートで行く場所との区別などを学校・親が指導するよう促している。
- 市民などからの身近な情報の提供を呼びかけている。

感想

「問題のある子どもと接したときに、いつもさびしさを感じる。また、人なつっこく声をかけてくる子どももいる。いかに家庭が大事であるかを、もう一度考えてほしい」と、女性指導員さんのとても印象的な言葉でした。

そして、しつけは小さい頃からの積み重ねであって、その年齢に応じた子どもの目線に合わせた言葉で、親とのコミュニケーションを取り、子どもの気持ちを理解しつつ、大切なことを伝えていくことが、いかに重要であるかを感じました。



和光市駅前

和光市青少年育成推進委員会の活動を知っていますか？

私たち推進員は、次代を担う青少年が健康で心豊かに成長することを願って、月1回の定例会を持ちながら、「青少年をまもる店」協力店へ訪問と拡大・地域の図書文庫などをまとめた「図書マップ」の作成・年2回発行の広報誌「あひる」をとおして、地域における子どもの様子や地域の様子などを、家庭と学校に伝えています。

子どもたちをとりまく環境が、少しでもよくなることを願いながら一。

子どものよ 環境づく

「青少年をまもる店」のプレートを知っていますか？



地域のお店・コンビニ・駅前商店街など、このプレートが掲示されています。

市内 236 店が、私たちの活動に対して、さまざまな視点から協力をいただいています。

6 月から 7 月にかけて、学区ごとに手分けをして、236 店一軒ずつを訪問し、来店する青少年の様子・青少年への対応、地域の様子などを伺ってきました。

その中から一部を抜粋し、業種別にまとめました。

コンビニ エンスストア

18 店

- 買ったものを外で飲食するが、ゴミ箱があっても片付けをしない。
- 化粧品・花火・MD・カラーリング剤等の万引きがある。
- 最近の子どもたちは、気に入らないと、すぐ言葉や態度に出すので注意ににくい。
- 自転車の置き方、ごみのポイ捨てなども含め、大人のマナーが悪い。
- 高校の野球部が、定期的に駐車場の清掃をしてくれるので、助かっている。

スーパー マーケット

17 店

- 高校生による万引きが多い。
- 夜遅い時間までうろうろしている。
- 小学生が高額紙幣で買い物に来るが、親は知っているのか気がかりである。
- 閉店後の店先で喫煙・飲酒をし、翌日まで吸殻等が散乱したままになっている。
- 中学生が多く姿を見せるが、特に問題はない

薬局・ ドラッグストア

10 店

- 夜になると、店周辺でたむろしている。
- 店の前に座り込んでいるので声をかけると、黙って立ち去る。
- 暴言を吐かれたりし、怖い思いをしたこともある。
- 化粧品の万引きなどの場合は、きちんと対応している。
- 子どもの行動に対する親の態度に、問題があるようにみえる。

※誌面に掲載できない業種や、もっと詳しくまとめた報告書を作成し、協力店・学校にも配布しています。

り よ い

りのために



「家庭の日」シンボルマーク

書店・ 文具店

7店

- 春休みから5月にかけて小中学生の万引きがあったが、手口などはいろいろである。
- 万引き防止を工夫したり、地域の方にも協力をお願いし「させない」という気持ちで見守っている。
- お店の前に放置自転車などがあると、通行の妨げになる。不定期に撤去作業してほしい。



カラオケ ボックス

3店

- ここ1～2年、学校の制服やジャージのままで来店する中高生が増えている。
- 店先のお菓子などを黙って持っていく。
- 青少年とお店にトラブルがあった時、交番側の対応があまりよくなかった。

ゲームソフト販売 ・CDショップ

4店

- 以前に比べて、青少年の利用も少なく、問題もないように思える。
- 全体に落ち着いている。
- お店の対応が効をなしている。

飲食店 (居酒屋など)

25店

- 未成年らしき人に対しては、年齢チェックをしている。
- 青少年と見られる場合は、入店を断ることもある。
- 駅前広場で座り込んだり、たむろしているのが目立つ。
- 駅構内で踊って騒いだりしている。
- バイクでの暴走が少なくなった。

ゲームセンター

2店

- ゲーム機や店内の装飾物へのいたずら書きが時々ある。
- ゲームにはまり込み、お金を使いすぎる子どもがいる。
- 喫煙などもよく見かける。
- 気になることがあっても注意ができないこともある。難しい！

平成16年度 青少年育成推進員名簿

(敬称略)
(◎会長 ○副会長)

氏名	選出区分
1 ◎大坂 良子	地域代表
2 服部 ひろ子	地域代表
3 ○大谷 鉄子	地域代表
4 大塚 志津子	地域代表
5 栗原 千賀子	地域代表
6 池田 まゆみ	地域代表
7 跡部 厚子	地域代表
8 内藤 礼子	地域代表
9 畠山 小百合	地域代表
10 永井 容子	地域代表
11 大泉 久子	地域代表
12 布施 恵利子	地域代表
13 私市 久美子	地域代表
14 横田 寿美	白子小学校
15 石川 弘子	白子小学校
16 富岡 由紀	新倉小学校
17 原賀 みどり	新倉小学校
18 牛若 美奈子	第三小学校
19 大澤 幸子	第三小学校
20 櫻井 奈保子	第四小学校
21 長坂 美穂	第四小学校
22 加藤 恵子	第五小学校
23 菅野 ひろ子	第五小学校
24 丸山 文恵	広沢小学校
25 中井 由紀子	広沢小学校
26 伊藤 珠枝	北原小学校
27 塚田 清子	北原小学校
28 下村 洋子	本町小学校
29 小原 美樹子	本町小学校
30 中尾 真弓	大和中学校
31 庄野 麻佐枝	大和中学校
32 齋藤 澄枝	第二中学校
33 中島 由紀子	第二中学校
34 小谷 節子	第三中学校
35 湊谷 恵美子	第三中学校

ふれあい あれこれ

小学校の通学路において、登下校時の児童の安全を見守ってくださっている交通安全立哨指導員さんから、原稿をいただきました。



泣いた顔が、 すぐ笑顔になって

白子小学校
工藤 優子

朝、「おはよう」と声をかけると「おはようございます」と子どもたちの声が返ってきます。また、登下校中の落とし物を拾って学校に届けた時、先生や保護者からお礼の言葉を言われたときに、この仕事をしていて本当によかったと思っています。

今年で2年目になりますが、子どもたちの名前を呼びながら挨拶をするように心がけています。

転んで怪我をして、泣きながら来る子どもに絆創膏を渡すと「ありがとう!」とすぐ笑顔になるのを見ると、嬉しくなります。

こんなかわいい子どもたちを、絶対に交通事故に遭わせてはならないと思いながら、毎日、立哨活動をしています。



子どもたちに願うこと

第三小学校
斉藤 孝

今、世の中で子どもが悲しい事件に巻き込まれたり、自ら罪を犯す事件が多数起きています。そんな中で、交通指導という仕事はとても大切だなと感じています。

登下校のときいつも元気で挨拶する子が、元気がなかったりすると、必ず友達とうまくいかなかったりすることがあるようです。

そんなときは、一声かけると笑顔が返ってきて、ほっとします。元気で笑顔の挨拶ができる子どもたちになってほしいと心がけております。

たった一言で、子どもたちが心のゆとりを持ち、優しい気持ちになれるような気がするからです。

登下校の 子どもたちとのふれあい

第四小学校
栗林 博彰

交通事故は、幼児から高齢者まで年代を問わず、誰もが遭遇する危険性があります。通学路を登下校していても慣れてくると、気の緩みから、友達同士のおしゃべりも多くなり、注意力が散漫になって大変危険です。

登校時の交通量は、日中より多く、特に雨天の日には傘などで見通しが悪くなるので、学童の目線に立った指導を心がけています。

また、「若葉マーク」の小さな交通社会人を優しく見守り、挨拶の声かけなどを行い、学童が事故に遭わないように安全に気をつけて努めたいと思っています。



一つの命から

新倉小学校
吉田 節子

一年生が入学してすぐのことだったと思います。私が立哨している場所の近くに、1匹のウサギが死んでいました。登校してきた子どもたちが見つけ「おばちゃん、このウサギ動かないけど死んじゃっているのかなー。可愛そうだね。車にぶつかったのかなー」と、男の子が言ってきました。

私は「ウサギちゃんが急に飛び出してひかれちゃったのかもしれないね。みんなも右・左を見て安全確認して渡ろうね」と話しました。この車社会の環境の中で一人ひとりが交通ルールを守り、事故に遭わないことを願っています。

